

## 参加申し込み方法

申込締切：8月6日(金)

実行委員会加盟団体のみならず、ご所属の団体事務局にお申し込みください。

実行委員会加盟団体以外の団体の方、ならびに個人として参加される方

1. 部落解放・人権研究所HPトップページ内「最新の講座・イベント」欄から、「第52回部落解放・人権夏期講座」をクリック⇒「内容」欄の「参加申込フォーム」をクリックし、必要事項を入力して送信してください。
2. 下記いずれかの方法でご入金ください。

①クレジット決済  
またはコンビニ決済

部落解放・人権研究所  
オンラインショップから



②銀行振込 \*振込手数料はご負担ください。

りそな銀行 桜川(さくらがわ)支店  
普通預金0109213  
部落解放・人権夏期講座実行委員会 代表 谷川 雅彦  
ブラックイホウ.ジケンカキコウザジッコウインカイ

3. 入金確認後、メールまたは郵送でID・パスワード情報をお送りいたします。

- ・お申込みの際の個人情報、講座運営上の目的以外には使用いたしません。
- ・事情があってキャンセルされる場合は8月19日(木) 17時までにご連絡をいただければ返金いたします。振込手数料はご負担ください。期日以降のキャンセルは対応できかねますことをご了承ください。

## 録画配信 視聴方法

8月20日(金) 10:00~9月3日(金) 17:00

部落解放・人権研究所ホームページ内、「高野山夏期講座」案内から受講ページにログインしてご視聴ください。

### 【受講ページログイン方法】

研究所HPトップページ内「最新の講座・イベント」欄「第52回部落解放・人権夏期講座」をクリック⇒「内容」欄の「オンライン講座参加」をクリックし、次のページに、参加券に記載、またはメール等で送られたID・パスワードを入力し、ログインボタンをクリック⇒受講ページへ



部落解放・人権研究所  
ホームページ

※詳しい視聴方法は部落解放・人権研究所ホームページでご案内します。

必ず事前にご確認ください。

※配信期間中はどの時間帯でも視聴できます。

※配信は動画共有サイトVimeoを利用します。

※ウェブブラウザInternet Explorerは受講ページをご利用することができません。

※録画視聴にあたっては、著作権・肖像権の侵害行為(写真撮影・録画等、およびそれらの二次利用や拡散など)、ひとつのID・パスワードでの複数人での視聴、ID・パスワードの第三者への提供はかたく禁じます。

## 報告書の送付

参加者には後日、講演内容をまとめた報告書を、翌年1月頃に解放出版社よりお送りします。

受講ページ内にある「報告書送付先フォーム」より、お送り先を入力して送信してください。

※フォームからの送信がない場合、報告書をお送りすることができません。

お問い合わせ先 講座事務局：(一社)部落解放・人権研究所 啓発企画部

TEL:06-6581-8576・FAX:06-6581-8540・E-Mail:koyasan@blhrri.org

第52回  
高野山  
夏期講座  
2021

# 部落解放・人権 夏期講座

日時

2021年

8月20日(金) 12:30~15:30 <会場開催> 開会行事、2講演

8月20日(金)~9月3日(金) <録画配信> 全11講演(会場2講演を含む)

参加費

8,000円/人  
(税込)

会場

高野山大学 松下講堂黎明館 【定員400名】  
(〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山 385)

主催

部落解放・人権夏期講座実行委員会

構成団体：大阪府人権教育研究協議会、大阪市人権教育研究協議会、大阪府立学校人権教育研究会、大阪市立高等学校人権教育研究会、大阪私立学校人権教育研究会、(一社)大阪府専修学校各種学校連合会、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪府教育委員会、堺市、堺市教育委員会、大阪府市長会、大阪府町村長会、『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議、高野山真言宗、大阪同和・人権問題企業連絡会、大阪企業人権協議会、JAグループ大阪人権啓発推進連絡会、人権啓発推進大阪協議会、世界人権宣言大阪連絡会議、部落解放同盟大阪府連合会、部落解放大阪府民共闘会議、部落解放同盟和歌山県連合会、(一財)大阪府人権協会、(一社)高野山宿坊協会、(株)ジョイックス、(一社)部落解放・人権研究所 (順不同)

## 会場開催

8/20 開会行事 12:30~ 全体講演 12:45~15:30

\*8月25日以降、録画でも視聴ができます。 \*講演には手話通訳が入ります。

講演1

12:45~13:45

### 「全国部落調査」事件裁判闘争の 意義と課題

片岡 明幸 部落解放同盟中央執行副委員長  
部落解放同盟埼玉県連合会委員長

2016年2月、鳥取ループが「全国部落調査」の出版を企てたため、部落解放同盟は、出版禁止の仮処分を申し立てました。その後、鳥取ループがインターネットに掲載したため、出版差し止めとインターネットからの削除を求めて東京地裁に提訴しました。9月27日に判決が出されるこの裁判の経過と、裁判闘争の意義及び今後の課題を報告します。

講演2

14:00~15:30

### 女性の人権 アップデートしましょう!

谷口 真由美 法学者、大阪芸術大学客員准教授  
日本ラグビーフットボール協会理事

オリパラ組織委の森元会長の女性蔑視発言は、世界から注目と非難を浴び、日本の中でも、タチマエはダメなことだと認識されました。けれど、ホンネの部分はどうか? 「あれくらいで会長降ろされるの?」と、けっこう耳にしましたよね。ジェンダーギャップ指数120位も、納得する人と理解できない人の間で本質的な議論になかなか至らない日本社会。まずはあなたから、意識のアップデートを始めましょう。

新型コロナウイルス感染症拡大により、会場での開催ができない場合は、  
会場開催の講座を録画配信に変更します。開催2週間前までにご案内します。

- 開催方法や会場収容率に変更が生じた場合、お申し込みいただいた方には、主催団体またはご所属団体を通してご案内いたします。また、部落解放・人権研究所のホームページでもご案内します。

\*各講演時間は90分です。

### 講演3

#### 部落問題入門 —部落問題理解に外せないポイント

奥田 均 前近畿大学人権問題研究所 教授

部落差別は封建的身分制度の単なる残りかすではありません。近代以降の日本社会と深くかかわる現代の差別問題です。差別解消への歩み、そして様々な人権課題に通じるその基本認識について考えてみたいと思います。

### 講演5

#### 障害者も共に生きる インクルーシブ社会を目指して ～障害者権利条約と 障害者差別解消法、バリアフリー法～

佐藤 聡 DPI日本会議 事務局長

日本に住む15人に1人は障害者です。なぜあなたは障害者の友だちがいないの？何が障害者差別になるの？東京オリパラで共生社会の実現って言うけど実際どうなん？初歩から最新情報までわかりやすくお話しします。

### 講演7

#### 男性の生きづらさって何ですか？ ～琉球新報の 国際男性デー・ジェンダー意識調査から

黒田 華 琉球新報社会部 記者

慶田城 七瀬 琉球新報社デジタル編集グループ 記者

琉球新報社が実施したジェンダー平等について男性側の課題を探るアンケート結果に触れながら、男性の課題、男性の生きづらさ、男性も女性も生きづらいジェンダー格差120位の社会について考えます。

### 講演4

#### コロナ禍で考える医療基本法

小林 洋二 弁護士  
患者の権利法をつくる会 事務局長

コロナ禍は、私的医療施設に依存する医療供給体制や、根強く残る感染症差別等、日本の医療を巡る諸問題を浮き彫りにしました。患者の権利擁護を中心とした医療基本法について考えます。

### 講演6

#### 日本の「外国人」問題 ～在日の歴史と現状から考える～

朴 洋幸 NPO法人多民族共生人権教育センター 理事長

現在約300万人もの外国籍者が生活しています。多文化共生が叫ばれる一方で、「外国人」に対する差別、排除を呼びかける動きも見られます。改めて在日の歴史から「外国人」との共生を考えます。

### 講演8

#### ハンセン病問題はまだ終わっていない 加藤 めぐみ 社会福祉法人豊済生会支部大阪府済生会 ハンセン病回復者支援センター コーディネーター

#### 差別・偏見解消へ あるがままに生きる—私の体験から—

宮良 正吉 ハンセン病関西退所者原告団いちじょうの会 会長

1907年から1996年まで続いた日本におけるハンセン病隔離政策は、現在もおハンセン病歴者とその家族に対する人権侵害として根強く存在しています。ハンセン病問題とは何かを退所者の体験とともに学ぶ講座です。

### 講演9

#### 障害者への虐待や差別を考える

野澤 和弘 植草学園大学 副学長  
毎日新聞 客員編集委員

43人の障害者が殺傷された津久井やまゆり園事件から5年。今も各地の施設で虐待や身体拘束が起きています。幾重にも障害者の人権を抑圧している社会的構造を解いていきます。

### 講演10

#### 抵抗者 —差別に抗い、時代を変えた人々

安田 浩一 ノンフィクションライター

変革を促すのは「抵抗者」です。彼らは、彼女らは差別と闘い、偏見に抗いました。アスリート、アーティスト、アクティビスト、そして無名の市民たちが世界を動かします。抵抗の歴史を紐解きながら、「いま」必要なことを考えます。

## 特別企画 オンラインフィールドワーク

### 高野山の歴史 ～「平等と差別」を中心に～

木下 浩良 高野山大学 元総合学術機構課長  
東京大学史料編纂所 共同研究員

高野山の魅力が解説される毎年人気のフィールドワーク。今年は現地で開催することができないため、フィールドワークの行程の一部を動画で体験していただきます。

## アクセス

### 会場バリアフリー情報

#### 高野山大学松下講堂黎明館

入口：自動ドア、段差なし  
エレベーター：なし  
トイレ：車イス対応トイレあり（男女別）  
障害者対応駐車場：なし  
その他：大学の校門から会場まで登り坂。  
介助が必要な方は事務局までお知らせください。

- 電車運賃：1,390円  
(南海高野線「なんば」駅→「高野山」駅、特急利用の場合 別途特急料金790円)
- バス運賃：300円  
(「高野山駅前」発→「千手院橋」下車)

※詳しくは、南海電鉄 (<http://www.nankai.co.jp/>)  
南海りんかんバス (<http://www.rinkan.co.jp/>)  
にてお確かめください。  
※現地の駐車場には限りがありますので、お車での参加はご遠慮ください。  
また、事故、盗難などに関する責任は負いかねますのでご了承ください。

## 会場参加の皆さまへお願い

- ※講演の趣旨に反する参加はお断りする場合があります。
- ※受講にあたって支援が必要な方は7月21日(水)までに事務局までお知らせ下さい。
- ※発熱・咳・咽頭痛など体調不良の場合は会場での参加をお控えください。
- ※マスクの着用、手洗い・消毒、入場時の検温にご協力ください。
- 37.5℃を超える発熱症状のある方は参加をお断りいたします。
- ※ロビー等の共有スペースでは周囲の方と十分な距離を確保して、大声での会話はお控えください。
- ※会場内で食事をする際は、他の参加者の方と距離を取ってください。食事での会話はお控えください。
- ※その他感染防止のため、主催者および施設利用者からの呼びかけにご協力ください。

## 会場開催にあたって以下のような準備を整え、皆さまのご来場をお待ちしています。

- 国の定める業種別ガイドラインへの対応
- 施設管理者・地元自治体・保健所等と連携した感染予防対策
- 会場内での十分な消毒液の設置や換気、ゆとりをもった定員
- スタッフ全員のマスクの着用、積極的な手洗い・消毒、入場者に対する検温の実施